

会津藩 什の掟

- 一、年長者の言うことに背いてはなりません
 - 二、年長者には御辞儀(おじぎ)をしなければなりません
 - 三、虚言(うそ)をいう事はなりません
 - 四、卑怯な振舞(ふるまい)をしてはなりません
 - 五、弱い者をいぢめてはなりません
 - 六、戸外で物を食べてはなりません
 - 七、戸外で婦人と言葉を交えてはなりません
- ならぬことはならぬものです

※平成23年度小学6年・社会科教科書 新しい社会6(上巻)(東京書籍 採用)



歴史には 伝えていきたい 心がいっぱい!!

名所旧跡が残る街でいつの時代も 変わらない大切な心、教えを発見しよう!

一農家の子どもだった野口英世のぐちひでよの生き方、会津藩の武士道の精神、江戸時代の宿場町おほつらしゆくが残る大内宿の風景の中に、今も残る伝統にふれながら、どんなに便利な世の中になったとしても変わらない、人として生きる上で大切なことや風土から生まれた人情、食文化を学びます。



学習のポイント：歴史から地域の文化や精神を学ぶ

会津藩校 日新館 (会津若松市) 野口英世記念館 (猪苗代町)



歴史に残る人々の生き方に触れることで、苦難に立ち向かうことの大切さ、礼儀作法や感謝の心の大切さなどを学びます。また「ならぬものはならぬ」という日新館に伝わる「什(じゅう)の掟」は、弱い者をいぢめない、うそをつかない、卑怯なことをしないと人としてあるべき姿を見直すきっかけになります。

スペシャルガイドに 聞いてみる!

会津藩校 日新館 観光事業部部長 仮名 則嗣さん



日新館では、孔子の教えである儒学を中心に、文武両道を学び、会津藩独特の気風を生み出しました。孔子の教えでは「仁(じん)~思いやりの心」など、人としての正しい生き方を説いています。先人が残してくれた事柄や考え方を学び、自分の生き方や将来の夢を考えるきっかけにしてほしいと願っています。